

# ライオンのかんさつシート

へいげん かんさつ  
平原ゾーンにいるライオンを観察しよう！

**行動をかんさつ！** み見られたものに○をしよう

<input type="checkbox"/> <small>ある</small> 歩いていた	<input type="checkbox"/> <small>はし</small> 走っていた
<input type="checkbox"/> <small>うご</small> 動かなかった	<input type="checkbox"/> <small>ね</small> 寝ていた
<input type="checkbox"/> <small>うんち</small> うんちをした	<input type="checkbox"/> <small>おしっこ</small> おしっこをした
<input type="checkbox"/> <small>みず</small> 水を飲んでいた	<input type="checkbox"/> <small>な</small> 鳴いた
<input type="checkbox"/> <small>すわ</small> 座っていた	
<input type="checkbox"/> <small>け</small> 毛づくろいをしていた	
<input type="checkbox"/> <small>た</small> その他	



★たてがみ、みみ耳、め目を描きいれて、色をぬってみよう！

**肢をかんさつ！** あしライオンの肢に○をしよう

ほっけん発見したこと

なぜオスにはたてがみがあるのか考えてみよう。

**昼間に寝ている動物を探そう！**

↓寝ている動物に○をつけよう

- ヤギ
- チンチラ
- チンパンジー
- マレーバク
- レッサーパンダ
- フラミンゴ

がっこうめい  
学校名

なまえ  
名前

# 先生用 ライオンのかんさつシートと解説

**ワークシートのねらい** ライオンの行動を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、生活の中で、からだの特徴がどのように活かされているのか考えるきっかけとする。

## ライオン 食肉目ネコ科

- ・サハラ砂漠以南のアフリカ大陸の草原や開けた森林地帯・砂漠、インド北西部の森林保護区とその周辺まで様々な環境に生息しています。
- ・食性は動物食で、小型から大型の哺乳類、鳥類、爬虫類、昆虫なども食べます。動物公園では、馬肉などを与えています。
- ・ライオンは危急種。人間の開発による生息地や獲物の減少、狩猟や乱獲、また害獣として駆除されるなどにより生息数は減少しています。





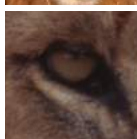
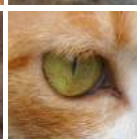




オス

メス

## ■ 百獣の王はネコの仲間

ライオンはネコ科の動物で、身近なところで見られるネコと同じ仲間です。ネコと比べてみると、ライオンがネコ科の動物であることがよくわかります。

【ライオン】 【ネコ】 【ライオンとネコを比べてみよう！】

口			ライオンもネコもするどい犬歯があります。 ライオンは、このするどい犬歯を強いあごの力で、獲物につきさします。 ライオンもネコも口のまわりにはヒゲがあり、風向きや近くの障害物を察知する感覚器になっています。
目			ライオンもネコも目は人間と同じように顔の正面についています。 黒目がネコは縦長ですが、ライオンは人間と同じ丸。 丸い方が絞りがきくので、遠くまでよく見え、獲物との距離をはかることができます。
耳			ライオンの耳は丸型、ネコは三角で、形は違いますが、どちらもピンと前を向いて立っています。 音の方向に合わせて左右に動かすこともあります。
前肢			前肢の形はそっくり。 爪も獲物におそいかかるようなときだけ出せるつくりになっています。

ワークシートの「昼間に寝ている動物を探そう！」では、チンチラとマレーバクが夜行性です。またレッサーパンダも夜行性もしくは薄明薄暮性で、昼間に寝ていることが多いです。

## ■ ライオンの暮らし

ライオンはネコ科で唯一群れをつくって暮らしています。なぜ群れをつくるようになったのでしょうか？それは、広いサバンナで1頭で狩りをするのは難しいため、獲物を捕まえやすいように群れをつくったと考えられています。また、肉食動物で競争相手となるブチハイエナなどが群れで生活していて、これらの動物とライオンが争うこともあるため、群れには群れで対抗しないと勝てないからと考えられています。ライオンも1日のうち20時間くらいは木陰や樹上などどんどこでも寝たり、ゴロゴロしたりしています。夜行性なので、夕方から動き出して、夜になると狩りをします。なぜ夜に狩りをするかというと、夜のほうが獲物に感づかれないため、狩りがしやすいのです。狩りも成功するのは10回のうち1~2回といわれているくらい、ライオンにとっても自然界は厳しい世界なのです。

## ■ たてがみは何の役に立っているのか？

たてがみはメスにはないため、ライオンのオスとメスはネコ科の動物では唯一見た目で見分けることができます。オスの頭には、1歳くらいからたてがみが生えはじめ、5歳にもなるとりっぱなたてがみになります。このたてがみで、全体的に体が大きく見え、オス同士で相手がどのくらい強いかを判断したり、他のオスを威嚇するのに役立っています。また、より濃く、黒い色をしたたてがみのオスはメスに人気があり、より確実に多くの子孫を残すことができます。

### \* 飼育員のコラム \*

千葉市動物公園では、平成28年の春より、はじめて大型肉食獣のライオンを飼育することになりました。建物のこと、餌のことなど、全部がはじめてなので、飼育員は勉強の毎日です。

